

制限事項やメリット、活用ポイントをリストアップ

カテゴリー	内容	備考
Notebook	Notebook は複数作成可能・・分類 (情報の大分類)	
	非同期 (local) の Notebook が作れる (ノートブック作成時のみ指定可、変更は出来ない)	
	ノートブックのスタック機能 (任意に区分けが可能)	
	デフォルト Notebook の指定方法 (Property 画面にて任意に変更が可能・・Local は対象外)	
	クリップ時に送信先 Notebook を指定しなおす方法 (Note 作成時のダイアログで個々に変更も可能)	ツール⇒クリップで可 通常はデフォルト
クリッピング	PDF ファイルはクリップできない (有料版では可能)	URL をコピペ
	画像を含むサイトページ全体をクリップ (ツール⇒「EVERNOTE に追加」で)	URL 自動挿入
	サイトページの部分的クリップ (例: テキストのみ) (範囲指定してからツール⇒EVERNOTE に追加操作)	URL 自動挿入 (Cintanotes と同じ)
	文字列選択⇒Microsoft キー+「A」で取り込み (ワード文書等からもクリップが可能)	
	クリッピング 60 回で約 30MB を消費した (不要な画像を削除することで節減が可能)	1 ヶ月 60MB 上限
ノート	「Ctrl」+「Alt」+「N」: Evernote を起動して空のノートを作成 「Ctrl」+「Alt」+「V」: クリップボードの内容をノートにする	既定ショートカット
タグ	タグはディレクトリ分類が可能 (あくまでも視覚上の整理)	
	たくさんのタグの整理方法は・・? (頭にローマ字を付ける ・・・例: d_ドロップボックス)	
携帯写真の転送	Evernote のメールアドレスに送信する (Web 版のアカウント設定画面に指定されたアドレス)	縮小サイズでよい
TRUNK	トランクからのノート取り込みは月間使用量に加算されない	一種の広告?
	東急ハンズのノートが日常生活面で人気らしい	